

三春

特集 —私の好きな桜—

わが街

■コミュニティだより

■編集 三春まちづくり協会調査広報特別委員会

■発行 三春まちづくり協会

Vol.12



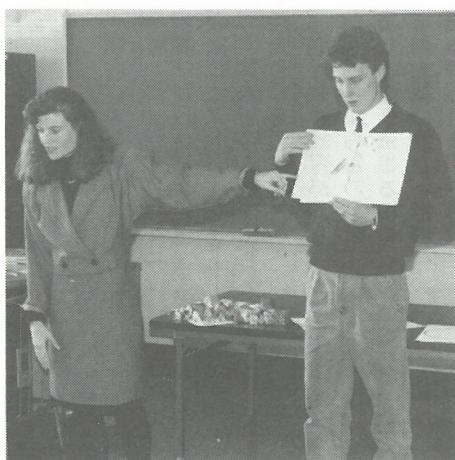
国際クラブの皆さん

昭和六十二年に、当時三春町の英語助手をしておりましたジーナ・シイファーさんのもとに、ウィスconsin州ウォーターシャー市ベセースダ小学校より、三春にある小学校と長期間姉妹校となることを望んでいますという手紙が送られてきました。これを受けまして、昭和六十三年の初めに、三春小学校がベセースダ小学校（全校生徒六三〇人）と姉妹校となりました。そして、外国の言葉や文化、小学校のこと、特に同年代の子供達のことを教えてあげたいという思いで岡部美鶴先生が三春小学校国際クラブを同年四月に発足させました。

三春町英語助手

ワーマスさんご夫妻も協力。

せました。現在クラブ員は二十七人、四年生以上の生徒ですが、どういうわけか全員女の子です。クラブ活動は週一回、内容は英語の勉強はもちろんのこと、日本のことや三春のこと、学校のことなど手紙に書いたり、福笑い、すごろく、だるまさんがころんだなど日々本の子供達の遊びを紹介した絵本などを作りベセースダ小学校に送っているそうです。ベセースダ小学校からも生徒達の写真や絵が送られてきており、教室にところせましと飾られてくれています。交流は順調に進められているようです。



ワーマスさんご夫妻

また、この日は今年の一月にジーナ・シイファーさんに替わって三春町の英語助手として来られた、デビット・ワーマスさん、カリン・ワーマスさんご夫妻に来てもらい、ワーマスさんご夫妻が作ってきてくれた教材で勉強したり、ピングpongゲームなどを楽しむひとときを過ごしました。最後に子供達が自分で作った折り紙などをプレゼントしてお別れとなりました。ワーマスさんご夫妻の丁寧で明るく、興味をそそるような教え方と子供達の真剣なまなざしが印象的でありました。「ワーマスさんご夫妻のご都合がつくようであれば、子供達のためにもこのような機会を何度か設けてあげたいのですが」と岡部先生はおっしゃつておられました。また子供達は「外国の言葉が話せるようになりましたし、勉強になるし全てが楽しいです。」と感想を話してくれました。



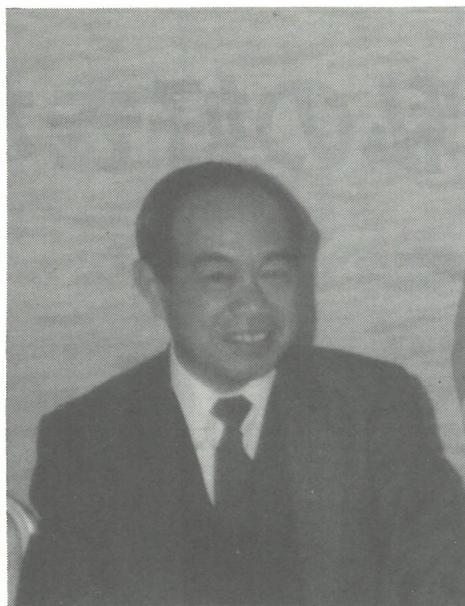
ベセースダ小学校
から送ってきた絵

HOW·DO·YOU·DO!

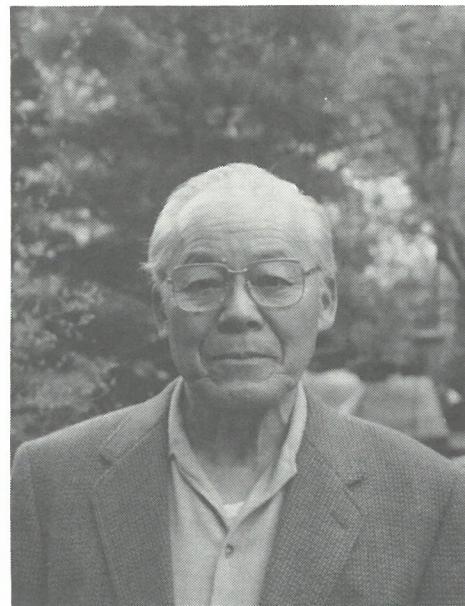
—三春小学校国際クラブ—



天野アイさん



村上紀男さん



田母野主税さん

特集

私の好きな桜



年々歳々花相似たり歳々
年々人同じからず。人の世
は年毎に変わつても桜花は、
毎年美しく爛漫と咲き誇つ
て人々を楽しませる。

私の家の常樂院桜もほど
なく開花するだろう。樹齢
推定四百年位。開花日は平
年四月十八日。特に紅が濃
く非常に美しい。滝桜の子
で、しだれた枝先が地上す
れこれまで伸びる。

四年程前迄、この桜に
接して幹が空洞になつた檜
の巨木があつて、桜を圧迫
していた。かわいそうに思
い木挽に切倒してもらって
から、桜も勢力を出して悠

常樂院 桜の事

田母野 主税
(四軒丁)

日々歳々花相似たり歳々
年々人同じからず。人の世
は年毎に変わつても桜花は、
毎年美しく爛漫と咲き誇つ
て人々を楽しませる。

私の家の常樂院桜もほど
なく開花するだろう。樹齢
推定四百年位。開花日は平
年四月十八日。特に紅が濃
く非常に美しい。滝桜の子
で、しだれた枝先が地上す
れこれまで伸びる。

日々歳々花相似たり歳々
年々人同じからず。人の世
は年毎に変わつても桜花は、
毎年美しく爛漫と咲き誇つ
て人々を楽しませる。

その春、私は希望に燃え
て田村高校に入学いたしました。入学と同時に昼休み
には全校生で校庭において
校歌、応援歌の練習があり
ました。「花さんらんの舞鶴
の」美しく咲きほこる桜の
校庭での先輩の厳しい指導
は、恐ろしくもありました。
花も終わりに近くなり風に
散る時の様子は、それは風
情があり時のたつのを忘れ
させる事もしばしばでした。

五月、クラス担任を廻ん
での記念写真撮影がありま
した。アルバムを開くと三十
数年前が昨日の事のようによ
り思い出されます。写真の多
くに桜の木が写っています。
勉強に、クラブ活動に、
共に学んだ友は、同窓の皆
さんは、母校の桜を思い出
しているだろうか。

かつての桜も今は古木に
なり朽ちかけている。花の
勢力もおとろえている。

遅ればせながら、母校の
桜も植樹の時期がきている
のではないだろうか。

それから、毎年ひとり静
かに楽しんでいる桜がもう
一つある。独り居の茶の間
で、ほつと一服したとき、
向こうの山に見える桜(?)

緑の木々の中にひとり紅い
花を咲わだたせてみせてく
る。

どなたかが「桜をみると
きは、木の下におむけに
なつて寝ころび、青空をバ
ックにしてみるのが一番美

しい」と、おっしゃった
のを聞き一度ためしてみた
いと思っているが、まだそ
のチャンスにめぐまれない
でいる。でも、吾が家庭
からみる神明様の桜は、そ
れに似た景色で眺めさせて
くれる。赤味がかった頃か
ら、蕾(蕾)満開、花ふぶき、
それぞれに風情があり、た
のしませてくれる。年々歳
々同じ花はあるが、その
年の気候によって色も違
い、「ことしは」と、愚宅
を訪れてくれる方との話題
に加わってくれることもま
たたのしい。

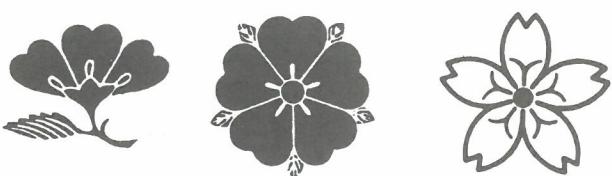
それから、毎年ひとり静
かに楽しんでいる桜がもう
一つある。独り居の茶の間
で、ほつと一服したとき、
向こうの山に見える桜(?)

緑の木々の中にひとり紅い
花を咲わだたせてみせてく
る。

日本一とも言はれてる
ペニシダレの
この見事さ

美しさ

背景はあやめの空と
羊雲



よ、郷土三春がほんとうに
すばらしい」と思うこの頃
である。とくに、三春とい
う地名のおこりにふさわし
く、春はまた格別に心うか
れる季節である。

草野心平さんが『萬葉の
花は、盛りあが里……』と
賞賛された滝桜をはじめと
して、町の中はその頃にな
ると、いたるところで、い
ろいろな桜でにぎわつてく
る。

どなたかが「桜をみると
きは、木の下におむけに
なつて寝ころび、青空をバ
ックにしてみるのが一番美

しい」と、おっしゃった
のを聞き一度ためしてみた
いと思っているが、まだそ
のチャンスにめぐまれない
でいる。でも、吾が家庭
からみる神明様の桜は、そ
れに似た景色で眺めさせて
くれる。赤味がかった頃か
ら、蕾(蕾)満開、花ふぶき、
それぞれに風情があり、た
のしませてくれる。年々歳
々同じ花はあるが、その
年の気候によって色も違
い、「ことしは」と、愚宅
を訪れてくれる方との話題
に加わってくれることもま
たたのしい。

それから、毎年ひとり静
かに楽しんでいる桜がもう
一つある。独り居の茶の間
で、ほつと一服したとき、
向こうの山に見える桜(?)

緑の木々の中にひとり紅い
花を咲わだたせてみせてく
る。

日本一とも言はれてる
ペニシダレの
この見事さ

美しさ

背景はあやめの空と
羊雲

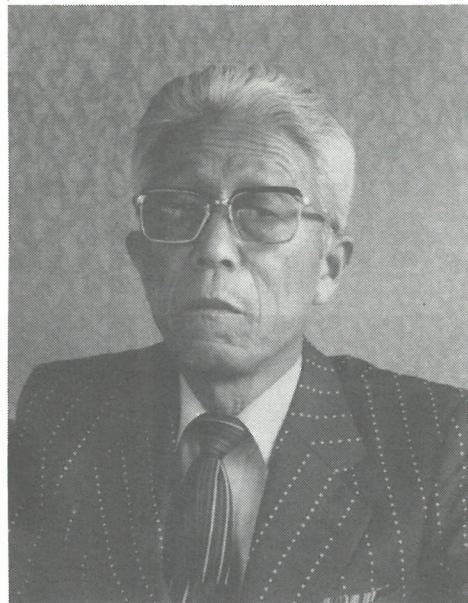




田村高校の桜並木



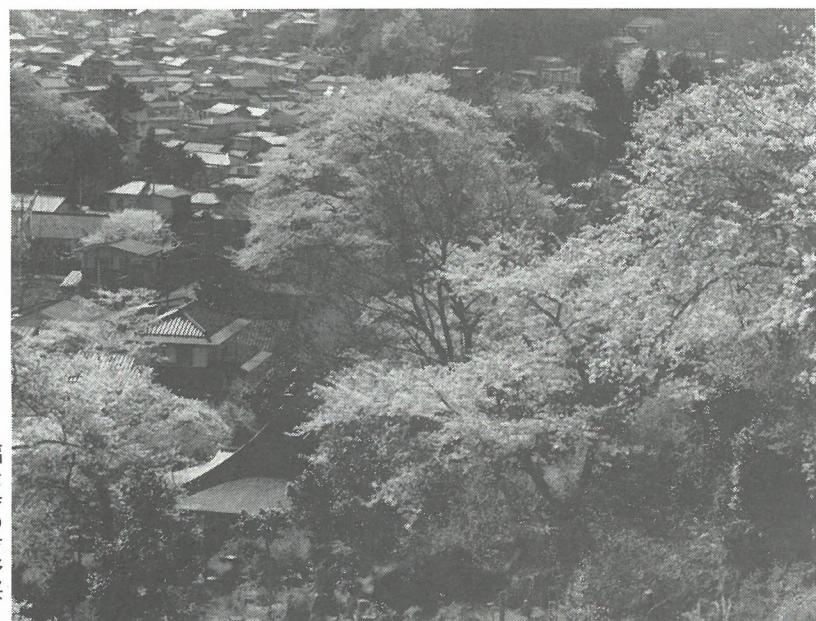
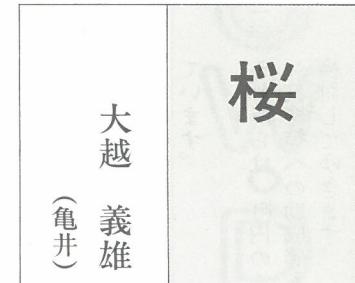
橋本芳子さん



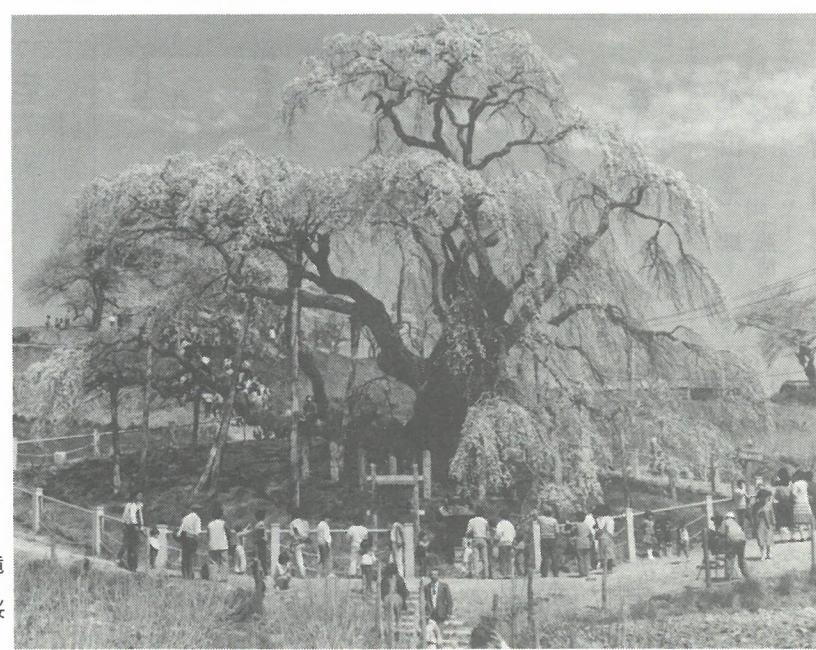
大越義雄さん



常楽院のしだれ桜



福聚寺の吉野桜

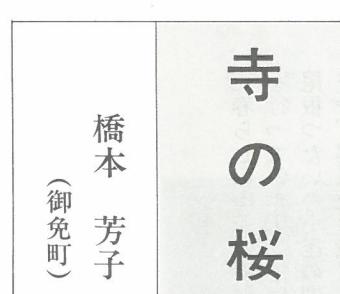


滝桜

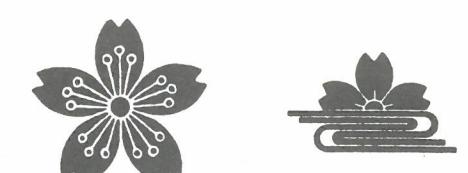
日才と云えれば桜、桜と云えれば滝
えは三春、三春と云えれば滝
である。では、なぜこの
桜は七百年もの風雪に耐え
てきたのであらうか。城山
頂上の吉野桜は百年にもな
らないのにあのようになつ
てしまつた。彼岸系の桜は
国内でも古木が多いから、
おそらく滝桜は彼岸系のし
だれ桜と考えられる。この
表現をする。天上から花の
簾が落ちてくるとか、小山
のようになんもりした薄紅
色の靄が、まさしく滝水の
ように地にむけて流れだす。
その姿から滝桜と名付けた
と言われる。私達町民もこ
の桜の歴史の一コマぐらい
は知つておきたいものであ
る。

三春は室町時代永正元年
(一五〇四) 田村義顯が山
城を構えて以来、城下町と
して発達してきたが、その
頃すでにこの桜は有名だっ
た。花の季節には城から早
馬を走らせ「ただいま何分
咲き」という報告をさせ、
満開ともなれば城主自ら桜
のもとに出かけて花見を樂
しんだ。また江戸時代には
桜のまわりの土地は地祖を
免じ、「殿の桜」として手
厚く保護したとい。天保
六年(一八三五) 三春藩士
が上洛したおり、「高サ四
丈二尺ノ周囲三丈二尺ノ桜
アリ」と報告したところ宮
中でも大いに話題となり桜
を愛でる歌合せでこんな歌
が詠まれた。

都まで音に聞えし滝桜
いろ香を誘え花の春風
滝桜はことしもある壯麗
な姿を私達にみせてくれる
だろう。末永く保存してゆ
きたいと願つてゐる。



また二春の里にも桜の季
節がやつて来ます。三春に
は天然記念物の滝桜があり
多くの人の目を楽しませて
くれます。ところで寺の境
内にもしだれ桜があり、杉
木立の緑を背景に美しい花
を咲かせます。樹齢も定か
ではないですが滝桜より木
が若いせいか花の色は紅
が濃く年毎に枝が伸びて
長いところは七、八米もあ
るでしょうか。はじめての
方は見事な枝ぶりと花の美
しさに驚くようです。毎年
花の季節になるとカメラを
持つて朝早くから訪れる人
が多く、いつもは静かな寺
の境内も賑やかになります。
しだれ桜ばかりでなく吉
野桜も数多くあり、その時
季には本当に全山桜で覆わ
れその美しさはカメラマン
にとって最高の場所である
ようです。境内一円に植え



てある吉野桜は大正五年四
月十日、苗木三百七拾本門
前境内墓地一円に植樹と過
去帳に記録されて居り、寄
附者名 橋本松太郎 白岩
又助 渡辺精作 伊藤篤治
四人とあります。当時は境
内、墓地内にも杉や雜木が
多く、とても現在の姿は予
想できなかつたと思ひます
が、先見の明のあつた祖先
の方々に感謝しつつ、その
志を受け継がなくてはと思
つて居ります。

三春まちづくり 協会からの お知らせ

三春まちづくり協会では昭和五十九年十月に自治省から「コミュニティ推進地区」の指定を受けて以来五年間にわたって活動を続けてきました。この間、国から年間二百万円の補助金をいただき、さまざまな事業、活動を行なつてきました。広報「三春わが街」をはじめ、桜マップ、モデルごみ集積所、あいさつ運動ステッカーなどです。もちろんこれには皆さんのご協力があつての事です。

さて、昭和六十三年をもつて、「コミュニティ推進地区」の指定も終了し、今後は今までの実績をもと活動してゆくことになります。そこで、皆さんの参加と協力を今まで以上にお願いしたいのです。予算是少なくなりますが、その分一人一人が知恵を出し合えば、必ず立派な活動が出来ると思います。まちづくりは人づくりと言いますが、まさに人ととのふれあいが、街をどうすれば住みよくなるかを考え、意見を交換し、実際に活動に参加する、それが「まちづくり」です。

現在の三春まちづくり協会特別委員会の方々と活動内容をご紹介します。

これらの活動にご興味、ご意見のある方は、ぜひご連絡下さい。

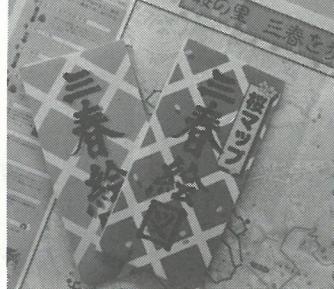
老人ふれ合いのつどい

三春絵図「桜マップ」

コミュニティだより「三春わが街」

モデルごみ集積所

ニコニコ道路



生活特別委員会

環境特別委員会

調査広報特別委員会

街並特別委員会

老人福祉特別委員会

編集室

二、これからは、町内のミニ文庫等への助成等も検討してゆきます。

一、青少年の健全育成めざし、さまざまな活動を行っています。特に、あいさつ運動を推進しています。

委員長 佐藤正昭（一本松）
副委員長 岩角久男（大町）
委員 遠藤祐次（中町）
萬年智（大町）
桑山トミ子（小浜海道）
柳沼竹四郎（山崎）
橋村昭二（小瀧）
菅井善雄（亀井）

委員長 池上千代（波池）
副委員長 佐久間藤四郎（御免町）
委員 小野寺誠（八幡町）
佐久間藤四郎（深田和）
塚田富治（鳥帽子石）
滝本盡意（新町）
佐藤哲郎（三春町公民館）
新野徳秋（地区担当職員）
伊藤朗（地区担当職員）

委員長 佐藤幸三（尼ヶ谷）
副委員長 佐藤幸久（丈六）
委員長 菊田幸久（丈六）
副委員長 石井勝男（北町）
委員長 五十嵐平吉（山中）
副委員長 佐藤忠（新町）
委員長 五十嵐平吉（山中）
副委員長 渡辺健二（荒町）
委員長 佐藤隆（大町）

二、これからは、桜川の美化その他環境問題にも取り組んでゆきます。

一、環境整備の中で、ごみ問題を中心に事業を実施しています。特に、モデルごみ集積所の設置や、ごみ減量運動を展開しています。

委員長 早川昭一（北町）
副委員長 佐藤利孝（中町）
委員 大内好幸（雁木田）
土館善三（荒町）
志賀靖和（北町）
山野崇（役場都市整備課）
山口元広（地区担当職員）
佐久間善子（大町）
天野アイ（馬場）
五十嵐ケサ子（一本松）
浮内絹子（深田和）
伴野恒（荒町）
高田恵美子（清水）
七海喜代子（北町）

委員長 佐藤澄子（御免町）
副委員長 佐藤利孝（中町）
委員 大内好幸（雁木田）
土館善三（荒町）
志賀靖和（北町）
山野崇（役場都市整備課）
山口元広（地区担当職員）
佐久間善子（大町）
天野アイ（馬場）
五十嵐ケサ子（一本松）
浮内絹子（深田和）
伴野恒（荒町）
高田恵美子（清水）
七海喜代子（北町）

二、これからも広報の発行、アンケート調査等を実施してゆきます。

一、地区の実態調査と広報活動を行っています。特に、「三春わが街」の発行に力を入れています。

委員長 佐藤澄子（御免町）
副委員長 佐藤利孝（中町）
委員 大内好幸（雁木田）
土館善三（荒町）
志賀靖和（北町）
山野崇（役場都市整備課）
山口元広（地区担当職員）
佐久間善子（大町）
天野アイ（馬場）
五十嵐ケサ子（一本松）
浮内絹子（深田和）
伴野恒（荒町）
高田恵美子（清水）
七海喜代子（北町）

委員長 佐藤澄子（御免町）
副委員長 佐藤利孝（中町）
委員 大内好幸（雁木田）
土館善三（荒町）
志賀靖和（北町）
山野崇（役場都市整備課）
山口元広（地区担当職員）
佐久間善子（大町）
天野アイ（馬場）
五十嵐ケサ子（一本松）
浮内絹子（深田和）
伴野恒（荒町）
高田恵美子（清水）
七海喜代子（北町）

二、これからは、各町内に石柱の設置等も検討してゆきます。

一、三春らしい街並の検討を行っています。特に、尾根づたいの小径の調査や、掲示板の設置、三春絵図・桜マップの作成等を行っています。

委員長 渡辺佐市（八島台）
副委員長 西山澄子（御免町）
委員 橋本義男（二本松）
土館善三（荒町）
志賀靖和（北町）
山野崇（役場都市整備課）
山口元広（地区担当職員）
佐久間善子（大町）
天野アイ（馬場）
五十嵐ケサ子（一本松）
浮内絹子（深田和）
伴野恒（荒町）
高田恵美子（清水）
七海喜代子（北町）

委員長 渡辺佐市（八島台）
副委員長 西山澄子（御免町）
委員 橋本義男（二本松）
土館善三（荒町）
志賀靖和（北町）
山野崇（役場都市整備課）
山口元広（地区担当職員）
佐久間善子（大町）
天野アイ（馬場）
五十嵐ケサ子（一本松）
浮内絹子（深田和）
伴野恒（荒町）
高田恵美子（清水）
七海喜代子（北町）

二、地域福祉のネットワークづくりを推進しています。特に、老人ふれ合いのつどいを実施しています。

一、地域福祉のネットワークづくりを推進しています。特に、老人ふれ合いのつどいを実施しています。

委員長 佐藤澄子（御免町）
副委員長 佐藤利孝（中町）
委員 大内好幸（雁木田）
土館善三（荒町）
志賀靖和（北町）
山野崇（役場都市整備課）
山口元広（地区担当職員）
佐久間善子（大町）
天野アイ（馬場）
五十嵐ケサ子（一本松）
浮内絹子（深田和）
伴野恒（荒町）
高田恵美子（清水）
七海喜代子（北町）

委員長 佐藤澄子（御免町）
副委員長 佐藤利孝（中町）
委員 大内好幸（雁木田）
土館善三（荒町）
志賀靖和（北町）
山野崇（役場都市整備課）
山口元広（地区担当職員）
佐久間善子（大町）
天野アイ（馬場）
五十嵐ケサ子（一本松）
浮内絹子（深田和）
伴野恒（荒町）
高田恵美子（清水）
七海喜代子（北町）

二、三春まちづくり協会は、三春町商工会内会調査広報特別委員会事務局三春町公民館内会TEL(612)38337

発行者 三春まちづくり協会
発行 平成元年三月三十一日
編集 三春まちづくり協会
事務局 三春町公民館内会
会調査広報特別委員会
事務局 三春町公民館内会
TEL (612)38337

コムニティだより
「三春わが街」
第十二号
発行者 三春まちづくり協会
発行 平成元年三月三十一日
編集 三春まちづくり協会
事務局 三春町公民館内会
会調査広報特別委員会
事務局 三春町公民館内会
TEL (612)38337

◇三春小学校に国際クラブがあると聞いたとき、へえ、今はそういうクラブもあるのかとちょっとびっくり、生徒の皆さんには和気いざ、活動状況を見せてもらひに行つたら、クラブ員が女の子ばかりで、またびっくり。生徒の皆さんには和気いざ、活動状況を見せてもらひに行つたら、クラブ員がいっぱい、尚且つ一生懸命で、とても雰囲気のいいクラブでした。これからは、国際社会に大いに役立てていただきたいと思います。

◇三春の春を代表するものと言えば、やはり桜ではないでしょうか。小さな谷あいの街で、これほど多くの桜が眺められるというのは、他ではありませんだと思います。（伊藤）
◇三春の春を代表するものと言えば、やはり桜ではないでしょうか。小さな谷あいの街で、これほど多くの桜が眺められるというのは、他ではありませんだと思います。
自宅の窓から見える可憐な山桜、莊厳な枝垂れ桜の巨木、爛漫と咲く吉野桜の巨木。長い間、一人一人が桜に思いを寄せて、守り育ててきたからこそ、今の三春の桜の風景があるのであります。
先人達の思いやりと努力に、ひたすら感じ入っている次第です。（新野）
◇三春の春を代表するものと言えば、やはり桜ではないでしょうか。小さな谷あいの街で、これほど多くの桜が眺められるというのは、他ではありませんだと思います。（伊藤）
◇三春の春を代表するものと言えば、やはり桜ではないでしょうか。小さな谷あいの街で、これほど多くの桜が眺められるというのは、他ではありませんと思います。
自宅の窓から見える可憐な山桜、莊厳な枝垂れ桜の巨木、爛漫と咲く吉野桜の巨木。長い間、一人一人が桜に思いを寄せて、守り育ててきたからこそ、今の三春の桜の風景があるのであります。
先人達の思いやりと努力に、ひたすら感じ入っている次第です。（新野）